

JILPT 資料シリーズ

No.126 2013年9月

壮年期の非正規労働 — 一個人ヒアリング調査から —



独立行政法人 労働政策研究・研修機構
The Japan Institute for Labour Policy and Training

壮年期の非正規労働

—個人ヒアリング調査から—

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

The Japan Institute for Labour Policy and Training

まえがき

経済・産業のサービス化、IT化、グローバル化が進展するとともに、働く人々の意識が多様化するなかで、いわゆる非正規労働者が増加している。非正規労働者の多くは、雇用保障の程度や賃金水準が正社員と異なるため、このような変化は、企業経営や職場運営のあり方のみならず、社会や経済のあり方にも大きな影響を与えると考えられる。

これら非正規労働者の雇用の安定、処遇の向上を図る動きとしては、2007年の「パートタイム労働法」改正、2012年の「労働者派遣法」改正、2012年の労働契約法改正（有期労働契約関連）など、近年相次いでいる雇用・就業形態ごとの立法政策があげられる。

他方で、雇用・就業形態の枠にとらわれない、対象者層別の対策も欠かせない。その典型は、バブル経済崩壊後の「就職氷河期」において、非正規労働者として働くことになった若年者に対する支援施策である。その内容は多岐に渡るが、柱となる代表的な施策として、学校から職業への移行プロセスの改革、若年の非正規労働者に対する企業内外での能力開発の強化などをあげることができる。

しかし、若年の非正規労働者の増加が問題視されてから、すでに20年以上が経ち、「就職氷河期」と呼ばれた時期に学校を卒業した者も、いまや40歳前後となっている。そして実際に、もはや若年とは呼べない、「壮年」と呼ぶべき年齢層の非正規労働者が増加している。これら壮年非正規労働者は、自身の加齢、両親の他界などにより生活上の負担が大きくなること、同年代の正社員との賃金格差が大きくなること、正社員への登用・転職の可能性が若年期と比べて高くなることなどから、若年非正規労働者よりも、仕事と生活の両面で困難な状況に直面している場合が多いと予想される。

そこで、労働政策研究・研修機構（JILPT）では、プロジェクト研究「非正規労働者施策等戦略的労働・雇用政策のあり方に関する調査研究」のサブテーマである「正規・非正規の多様な働き方に関する調査研究」の一環として、「壮年非正規労働者の働き方と意識に関する研究」に取り組むこととした。本資料シリーズは、壮年期に非正規労働者として働く人々が直面している具体的な課題を明らかにすることを目的として実施した個人ヒアリング調査の記録を取りまとめたものである。調査にご協力いただいた皆様に、この場を借りて、お礼を申し上げます。

本資料シリーズが、政策担当者をはじめ、企業経営者、人事担当者の参考となり、非正規労働者として働く人々の就業環境の改善につながれば幸いである。

2013年9月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構
理事長 菅野 和夫

執筆担当者（執筆順）

氏名	所属	執筆箇所
たかはし こうじ 高橋 康二	労働政策研究・研修機構 研究員	第Ⅰ部 全文 第Ⅱ部 下記以外
おくだ えいじ 奥田 栄二	労働政策研究・研修機構 主任調査員補佐	第Ⅱ部 XB氏 XF氏 YO氏
ひめの こうすけ 姫野 宏輔	東京大学大学院人文社会系研究科 博士課程	第Ⅱ部 XC氏 YI氏 YK氏 XN氏
にいたのりこ 仁井田典子	首都大学東京大学院人文科学研究科 博士後期課程	第Ⅱ部 YG氏 YP氏 YY氏
おの あきこ 小野 晶子	労働政策研究・研修機構 副主任研究員	第Ⅱ部 XL氏 XU氏
ふくだ なおと 福田 直人	生活経済政策研究所 研究員 (元・労働政策研究・研修機構 臨時研究協力員)	第Ⅱ部 XM氏 XQ氏

※全体の編集は、高橋が担当した。

「壮年非正規労働者の働き方と意識に関する研究」研究会メンバー

(2013年7月末時点)

あきお ゆたか 浅尾 裕	労働政策研究・研修機構	労働政策研究所長
うめざわ しんいち 梅澤 眞一	労働政策研究・研修機構	統括研究員
ほり はるひこ 堀 春彦	労働政策研究・研修機構	副主任研究員
おの あきこ 小野 晶子	労働政策研究・研修機構	副主任研究員
いけだ しんごう 池田 心豪	労働政策研究・研修機構	副主任研究員
たかはし こうじ 高橋 康二	労働政策研究・研修機構	研究員
おくだ えいじ 奥田 栄二	労働政策研究・研修機構	主任調査員補佐
り せいが 李 青雅	労働政策研究・研修機構	アシスタント・フェロー
こばやし とおる 小林 徹	労働政策研究・研修機構	臨時研究協力員
もりやま ともひこ 森山 智彦	同志社大学社会学部	助教
ふくだ なおと 福田 直人	生活経済政策研究所 研究員 (元・労働政策研究・研修機構 臨時研究協力員)	
ふくい やすたか 福井 康貴	東京大学社会科学研究所	特任研究員
にいたのりこ 仁井田典子	首都大学東京大学院人文科学研究科 (社会学)	博士後期課程
ひめの こうすけ 姫野 宏輔	東京大学大学院人文社会系研究科 (社会学)	博士課程
ふくだ るい 福田 隆巳	東京大学社会科学研究所	学術支援専門職員

壮年期の非正規労働
—個人ヒアリング調査から—
目 次

まえがき

執筆担当者

目次

第 I 部 本編	1
序章 問題設定	3
第 1 節 問題関心	
第 2 節 調査概要	
第 3 節 本資料シリーズの構成	
第 1 章 非正規労働に至る過程	16
第 1 節 初職	
第 2 節 正社員からの離職	
第 3 節 非正規労働の継続	
第 2 章 壮年非正規労働者の仕事と生活	24
第 1 節 現在の仕事	
第 2 節 現在の生活	
第 3 章 壮年非正規労働者の将来希望・見通し	27
第 1 節 将来の仕事	
第 2 節 将来の生活	
第 4 章 壮年期の正社員転換	30
第 1 節 正社員転換のきっかけ	
第 2 節 正社員転換を導いた要因	
第 3 節 現在の仕事	
第 4 節 仕事と生活の変化	
終章 結論と含意	37
第 1 節 結論	
第 2 節 含意	
引用文献一覧	43
資料① インタビューシート	45
資料② 事例の要約	51
第 II 部 事例編	53